

“アニメプロジェクト in 大泉 2023”における 東映東京撮影所の取組みについて



「ジャパンアニメーション発祥の地 大泉」を広く周知すると共に、アニメを含めた映像文化資源を活用することにより、商店会や地域の活性化を促進するため、去る2023年5月28日（日）に開催されたアニメイベント《アニメプロジェクト in 大泉 2023》。この主催である「アニメプロジェクト in 大泉推進連絡会」は、練馬区をはじめ、地元商店会や練馬区立大泉図書館、西武鉄道が連携して構成されており、東映アニメーションと共に東映東京撮影所も参画しています。

会場は東映アニメーションミュージアムのほか、練馬区立大泉小学校、妙延寺、大泉風致地区公園、練馬区立大泉図書館、大泉アニメゲートの6箇所で行われました。今回はコロナ禍を経て、実に4年ぶりの実施とあって、前回2019年の来場者数9,859名の2倍にあたる19,500名が参加しました。！

東京撮影所の取組みとしては、①大泉図書館での木次谷良助東京撮影所長がトークショー、②大泉小学校での商店街PR動画発表会にて映画『としまえん』の高橋浩監督が総評およびティーチイン、③大泉小学校での東映ツークン研究所によるデジタルアート体験のレクチャー④大泉小学校での仮面ライダーフィギュア展示を行いました。



① のトークショーでは、「東映東京撮影所 映画・撮影よもやま話」をテーマに撮影所の歴史、所内の様子や映画の作り方が語られ、大泉ならではの企画と大好評でした。



② の商店会 PR 動画発表会では、参加者との活発な意見交換や質疑応答などで盛り上がりました。



③ のデジタルアート体験では、現在放送中の NHK 連続テレビ小説「らんまん」のモデル・牧野富太郎博士が命名した植物のぬり絵を用いてデジタルで「自分オリジナルの植物を作る」作業をデモンストレーション。晩年を練馬区で過ごし、練馬区の名誉区民に選ばれた牧野博士だけに、大泉で行う意義が生まれました。

④ の仮面ライダーフィギュア展示では、コレクターをはじめ、子どもから大人まで幅広い年代層に楽しんでもいただきました。また Prime Video での世界独占配信で話題を呼んだ「仮面ライダーBLACK SUN」で使用されたバイク 2 台も展示も多くのファンから喜ばれました。